

# みつくら

令和 5年 7月15日 第390号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

### 釣り大会に総勢93名

葛丸川淡水魚愛護組合主催の葛丸川溪流釣り大会は、6月25日に多くの釣り人で賑わった。この日釣り人の参加は大人45名、ジュニア11名。そのほか役員17名、家族や観客20名など合わせて93名が集まった。参加料は大人2,000円、ジュニア1,000円。午前5時から受付を開始し、制限時間は2時間で、午前6時に熊谷幸夫副組合長の笛で一斉に竿を投じた。釣果の成績は別途に掲載。

表彰式で菅原昇組長は「2年間コロナで中止していたこの大会も、昨年度は規模を縮小して再会し、今回は全く規制無く従来通り開催しました。その結果、今までは40名前後の参加者でしたが今回は56名の参加をいただき感謝しております。これからも、魚が住めるきれいな葛丸川を守る活動をしていきますので皆さんのご協力をお願いします」と感謝を述べた。

釣り大会の様子は当日のNHKおぼんです岩手で放映し、再放送は翌日26日6:30から、東北ニュースとしてNHK仙台から放映された。

### 表彰（敬称略）

第57回葛丸溪流釣り大会

大漁賞

一般の部 1位 51匹 新井田勇一（紫波町）  
 2位 49匹 丸山勝敏（滝沢市）  
 3位 45匹 斉藤誠（盛岡市）

ジュニアの部（小学生以下）

1位 51匹 小田中結葵（紫波町）  
 2位 16匹 阿部琉奈（花巻市）  
 3位 6匹 藤原且灯（石鳥谷町）

大物賞

一般の部 1位 33, 5cm 小田中蘭（紫波町）  
 1位 33, 5cm 工藤浩一（石鳥谷町）  
 3位 28, 0cm 小森田巽（石鳥谷町）

ジュニアの部

1位 33, 0cm 熊谷 光（大瀬川）  
 2位 26, 5cm 島山真瑠（紫波町）  
 3位 26, 0cm 島山立（紫波町）  
 ブービー賞 阿部義光（花巻市） 1匹  
 レディース賞 島山鈴未（大瀬川） 12匹  
 当日賞 受付25番 小森田敏（石鳥谷町関口） 17匹

### 手作り歌集でサロン

去る6月21日 たんぼぼの会（熊谷幸子会長）では、9区自治公民館で11名参加してサロンを行った。最初に菅原千恵子さんの語りで3話の紙芝居を聞き、続いて幸子さんの歌い出して皆で歌うのだが、今回は歌謡集ができたのでそれを見ながら歌った。この歌謡集は、A-4でタイトルが「昭和・思い出のうた」で「さくら貝の歌・ふたり酒・リンゴの唄」などの15曲が綴られ、もう一つはB-5でタイトルは「愛唱歌」で「赤とんぼ・茶摘み・雪の降る街を」など15曲が収められている。

この歌謡集には、どの曲にも音符付きで、幸子会長が選曲し大瀬川第一老人クラブが制作協力したもので、各20部を作成し常時9区自治公民館に置いて誰でも使用可能とのこと。

### 3回目となる基盤整備図面説明会を実施

大瀬川地区基盤整備事業推進委員会（菅原教雄委員長）では、基盤整備図面説明会を6月13日に7区自治公民館（34名参加）、14日に大瀬川振興センター（37名参加）、15日に9区自治公民館（44名参加）で行った。令和3年10月に2回目を行って以来で、この間には2回目で質問があった項目の検討と標高差を含めた測量を行い、より実施に近い図面ができたため、再度図面説明の場を設けたもので山王海土地改良区からも3名出席した。

菅原委員長から「今回の整備図面は、2回目の意見を取り入れ標高差も入り、ほぼ決定図面に近いものですので、それを踏まえて確認をお願いしたい」とあった。ここで出された質問については再度個人や改良区と県と検討し、今年度中に決定図面の説明会を実施する方向で進められている。

### 島山さんが熊の親子に遭遇

島山松五郎さんが、尾平（おだいら）で親子熊3頭に遭遇した。6月15日の午後2時頃、山菜採りのために重之助家の脇から東北道の跨線橋を渡って直ぐの右側に車を留められる空き地があり、そこで大きな親熊と子熊2頭がじゃれ合って（遊んで）いた。車と違ってオートバイに乗っていた島山さんは、ほんとに直ぐ近くだったのでビックリし、クラクションを鳴らして急速で逃げたという。「熊はクラクションを聞いた後どうなったの」とたずねると「判らない。そのまま遊んでいたのかも」と話していた。

また、7区でも毎日のように子連れの熊（3頭）が堤田の麦畑に出没しているのを北田の辻村康幸さんが見かけている。

「現在、猪対策で2箇所には罠を設置していますが、こちらもなかなか捕まりません。設置しているカメラには4時頃通りかかる熊の姿が見えます。今年はウリ坊が熊に追いかけられたり、逆に猪対策になっているのかわからないが熊に襲われないように注意しましょう」と辻村さんは語っていた。

### 全国選抜女子CG大会に菅原さんが出場

日本ゲートボール連合主催の第38回全国選抜女子ゲートボール大会が6月3日から9日まで和歌山県和歌山市の紀三井寺陸上競技場で行われた。岩手県から盛岡市の「木曜クラブ」と花巻市の「いしどりや」チームが出場した。

出場したのは100チームで、いしどりやチームの選手として菅原敬子さんが大会に出場した。1回戦は4チームのリーグ戦で行われ、いしどりやチームは福井県のかすみチームに勝ったが、沖縄県のブーゲンチームと和歌山県の串本チームに敗れ1勝2敗で惜しくも2回戦に進めなかった。

菅原敬子さんによると、6月2日にマイクロバスで大会に向かったが、生憎の台風2号の襲来で会場周辺は膝まで浸水した状態で、それでもなんとか試合が出来たという。

今大会は出発から帰宅まで4日間、それも全額自費とのこと。「ほんとうにお疲れ様」でした。

### 自生花菖蒲園で「野点の会」

去る7月2日に葛丸の農村環境を守る会（板垣幸夫会長、構成員237戸）主催の「野点の会」が尾平（大瀬川8地割）の「大瀬川自生花菖蒲園」で行われ、40名が参加した。その様子は岩手日報と岩手日日新聞で報じられた。

この「野点の会」は今回で5回目。来賓の熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長は「今年も綺麗な花菖蒲がたくさん咲き誇り、この保全活動をしている方々に敬意を表したい」と挨拶した。続いて鈴森直明花巻市教育委員会文化財課長から「市内には貴重な自然が多くありますが、この花菖蒲も永続するように願ってやみません」と挨拶があった。

花菖蒲を眺めながら、真っ赤な野点傘の下で、これもまた真っ赤な毛氈を敷いた椅子で、代わる代わる戴いたお点前の味はほろ苦くも格別であった。茶菓は、丸文特製「清流」。葛丸川に箆石（ざるいし）、それにイワナが跳ねているデザインだった。お点前の高橋あや子さんに手伝った方は菅原文子さん（茶畑電家）、板垣福子さん、菅原房子さん、菅原和子さん、高橋厚子さんの5人。翌日には新聞を見た県農業博物館の古川勉館長も見えられ、菅原純一さんが案内している。

### 板垣圭介さんが優秀選手!

7月1、2日開催の県民体育大会バレーボール9人制Aで谷地の板垣圭介さんが優秀選手に選出された。決勝戦で北上市にフルセットで敗れたものの活躍が認められたもの。大瀬川からは9人制A（若者）に板垣春介さん、B（40歳以上）に板垣幸規さん、板垣伸吾さん、板垣雄一さんが出場している。

# みつくら

令和 5年 7月15日 第390号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川 10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話 45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

### 4年振りに地区民運動会

みつくら7月1日号にも紹介されたが、今号ではもう少し詳しくお知らせしたい。

新型コロナウイルス感染拡大のために開催できずにいた第77回大瀬川地区民運動会は、7月11日に4年振りに行われた。開会式で熊谷俊哉大瀬川体育協会会長は「4年ぶりの開催となり、多くの地区民に参加して頂きありがとうございます」と挨拶した。また、来賓の熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長からは「今回の大会は第77回と言いますから、昭和の時代（第1回は昭和21年）から続いていて、地域づくりに大きな貢献を果たしてきました。好地は第54回、新堀は第69回と言いますから大瀬川はそれより古くから始まっていました。今日は怪我をしないように気を付けながら楽しんでいただければと思います」と祝辞を述べた。

開会式には137名が整列し、他に7区テントに14名、8区は10名、9区は8名いたので総勢169名であった。その後、競技に入ってから更にも多くの方が来られたので200名は優に超えたと思われる。まだ完全にコロナが収束したわけではないので、今年は種目を縮小し7種目（100m競争/まがすなよ!!カゴいっぱいボール/400歳リレー/玉入れ/幼児レース/目指せ!!ホールインワン/年齢別リレー）を行い午前中に終了した。例年なら昼休み前に行われる「大瀬川音頭」の集団演技も「幼児レース」の後に行われ、「ほんとうの運動会が戻ってきたなあ〜」としみじみ思った。採点の結果、総合優勝は第8区、2位は第9区、3位は第7区であった。

### 今年度中にプールを解体

熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長は、運動会の祝辞の中で「長い間、大瀬川の皆さんに親しまれてきました運動公園プールは老朽化のために、今年度中に解体することになりました」と述べた。

このプールは大瀬川小学校プールとして造られたが、その経緯は、小学校統合が昭和47年から審議されていた最中の

昭和49年4月に「統合だからこそ大瀬川にプールが必要」と大瀬川小学校PTAが高橋俊雄教育長に働きかけた。その結果、ついに実現の運びとなり、昭和49年12月14日に大瀬川小学校プール建設促進委員会を組織して板垣寛PTA会長を委員長とし委員20人を決めた。運動の成果で建設費約1千万円で昭和50年7月に竣工し、同時に大瀬川小学校プール開きとなった。施行業者は高萬建設で、竣工当時は濾過機械装置は無かったが数年後に消毒と濾過機械装置を設置した。

石鳥谷町教育委員会は当初、昭和47年に閉鎖した大瀬川保育所跡にプールの建設を計画し、大きな銀杏も伐採の危機に瀕していたが、PTAが由緒ある銀杏の存続を要請し、現在の田屋家西側に建設した。このプールは令和元年の使用を最後に老朽化のために使用を終了し、令和2年3月31日付けて濾過装置の故障やプールの老朽化で花巻市教育委員会が閉鎖した。

45年間を振り返ると、菅原康栄さんが大瀬川子供育成会長時に、無償でプール全体に塗装工事をしていただいたこと、釣り堀大会を開いたことや、育成会と子供達と一緒にプールの清掃を行ったことなどが懐かしく思い出される。

### ミニサロンで30年前の「運動会」鑑賞

あじさいの会（板垣福子会長）主催のミニサロンは、6月27日に30名が参加して大瀬川振興センターで行われた。当日は「映像で綴る大瀬川の記録」の中から「平成5年度大瀬川地区民運動会」のDVDを鑑賞した。30年以上経っているのでどの種目も懐かしく、思い出が蘇ったひと時であった。映像の中の板垣光雄さん、藤原進さん、板垣博司さんなど往事の役員達の姿を目にし、在りし日も偲ぶことが出来た集いであった。また、運動会の昼休みに踊った「石鳥谷音頭」の踊り子たちの若かりし姿に皆で感慨深く見入っていた。

### 大瀬川12地割にも大きな熊が出没

6月22日午後、大瀬川12地割に住む佐々木和枝さん（稲豊）宅南側で、佐々木さんが農作業中に大きな熊が現れ、市の広報車で注意を呼びかけるなどの対応がとられた。また、翌日の午後2時頃にも同じ場所に同じ熊が現れたので、市と花巻市猟友会、花巻警察署など7名が対応に当たった。猟友会では、熊が逃げ込んだ菅原和雄さん北側の原野をドローンを使って探したが見つからなかった。そこで市は、原野の西側に爆竹（とそうが、それよりとてつもない大きな音がした）を列に並べて一斉に発火させた。その大きな爆発音に驚いた熊は、東側の水田を跳ね飛びながら中谷地堰に入り込み、東側へ逃げてしまった。

筆者は当時、丁度近くにおり、パトカーなどが集まっていたのでつい物見遊山気分で行って一部始終を見てしまった。逃げた熊は人間の2倍はあろうかと思う大きさで体重は約150kgはあるとのこと。一方、今年も菅原孝三さんのブルーベリー畑に熊が出没している。菅原さんに「大瀬川に今年は熊が来ないね」と話したら「いつも通りに出没しているが、届けても退治にならないので通報は止めたの」と言っていた。

### 山祇神社大杉の枝切り

山祇神社の神殿後ろにあるご神木が冬の大雪で枝が折れ、神殿の屋根に突き刺さる事故が発生した。この為、執行部会を開き検討の結果、木こり屋（熊谷利昭代表）を依頼。6月19日に付近の道路を通行止めにし、道路内で25トンクレーン車にゴンドラを取付てご神木の枝切りを実施した。

道路脇から電線等に配慮しながら、ゴンドラで神木の枝を伐採する予定だったが、手前の木々が邪魔をして、木々の上を越していかなければ伐採出来ないため、見ている方もハラハラだった。熊谷さんに聞いたところ、「神木の高さはクレーン車の腕が最高に伸びた所と同じぐらいなので、有に30メートルはある」とのことだった。伐採した枝を見ると、中が空洞になっている所が多く見られた。これによって当分は大雪や大風からの難を逃れられることだろう。

### 人 事（敬称は略）

大瀬川生産森林組合、分収造林組合  
 組合長 菅原清昇（再）副組合長 菅原洋二（再）  
 監事 （代）菅原康之（再）板垣忠夫（再）畠山拓（再）  
 くずまる大学自治会  
 会長 熊谷政男（新）  
 副会長 菅原善治郎（新）菅原得之（新）

### 訃 報

旭田家の熊谷富男さんは6月5日に80歳で亡くなられました。熊谷さんで思い出されるのは、平成9年に発生した大瀬川山林大火の時に地域で大変お世話になったことでした。当時町森林組合庶務課長だった熊谷さんは、森林組合員の山林を守るために奔走しました。あの日は金曜日で勤務中に山林火災の通報後直ちに現地に入り、花巻営林署森林官に現況を報告し、更に消防署や町対策本部にも現況を伝えるなど消化に尽くされた方でした。熊谷さんの活躍も含め、その様子を伝えた番組は翌年2月の全国有線放送コンクールで優秀賞に輝いたことも思い出します。

熊谷さんは高校卒業後、堤田家の菅原伊之助さんが経営するマルエス商會に勤務後、好地の山鼻鉄工所、さらに石鳥谷町森林組合に勤務されました。また、地域においても大きな貢献を果たしており、大瀬川青年会長・励ます会長・町有林監視員・花巻地方農業共済組合共済部長・そして、晩年まで大瀬川たろし滝測定保存会理事・大瀬川戦没者慰霊祭実行委員長・大瀬川森林生産組合長・山祇神社責任役員・花巻市シルバー人材センター理事など枚挙にいとまが無いほど貢献されました。その功績で石鳥谷町長感謝状や花巻市シルバー人材センター理事長表彰も受けられています。奴踊りの「どうまえ」でもありました熊谷さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 6月号訂正

人事で葛丸川上堰水利調整組合は葛丸川淡水魚愛護組合です